



連結業績の概要

2015年度 第2四半期

2015年10月30日

ルドルフ・ファン・ハウテン

チーフ フィナンシャル オフィサー代行 / グループフィナンシャルコントローラー



重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



開示項目の定義

実質的な成長

- 「**実質的な成長**」とは、実際の事業活動のパフォーマンスを把握することを目的として、当期と前年同期の業績を共通の基準で比較するものです。
- 「**実質的な成長**」の算定にあたっては、為替影響や製品売却および取得、企業買収にかかる会計処理の影響や無形資産の償却費・減損損失、事業構造再編費用、主要な訴訟費用などの特殊要因を除いています。
- 当社は売上収益、Core Earnings、Core EPS の「**実質的な成長**」をマネジメントガイダンスとして示しております。

Core Earnings と Core EPS の定義については Appendix をご参照ください。

これらの指標は会計基準に基づくものではなく、内部管理目的の指標であり、監査を受けておりません。



持続的な成長に向けて

2年連続（14年度、15年度）での マネジメントガイダンスの達成に向けて

- 15年度上期の実質的な成長：
売上収益 +3.8%、Core Earnings +3.7%、Core EPS +7.9%
- タケダの成長ドライバー：
消化器系疾患（GI）、オンコロジー、新興国事業の全体で 10%成長
- 実質的な営業費用の管理に注力：
15年度下期の営業費用は対前期（14年度下期）より減少の見込
- Project Summit は公表したコスト削減額の目標達成に向けて進捗
- 営業フリー・キャッシュ・フローは増加、さらなる改善は必要



損益計算書(財務ベース)



損益計算書(財務ベース)

	14年度 上期	15年度 上期	増減	(億円)
売上収益	8,514	9,040	+527	+ 6.2%
売上総利益	6,044	6,466	+423	+ 7.0%
販売費	2,054	2,254	+200	+ 9.7%
一般管理費	777	881	+103	+ 13.3%
研究開発費	1,565	1,614	+49	+ 3.1%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	632	630	△3	△ 0.4%
その他の営業収益	387	152	△235	△ 60.7%
その他の営業費用	235	136	△99	△ 42.2%
営業利益	1,167	1,104	△62	△ 5.4%
税引前四半期利益	1,131	1,020	△111	△ 9.8%
四半期利益	614	544	△71	△ 11.5%
EPS	78 円	69 円	△ 9 円	△ 11.2%



実質的な成長：売上成長



年間ガイダンス達成に向けた実質的な売上収益の成長

(億円)

	14年度 上期	15年度 上期	上期 成長率	第1四半期 成長率	第2四半期 成長率
売上収益	8,514	9,040	+ 6.2%	+ 8.5%	+ 4.0%
為替影響*	375	81			
売却/取得	△ 108	△ 13			
実質的な売上収益	8,780	9,109	+ 3.8%	+ 6.1%	+ 1.6%

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円、他)による調整



タケダの連結売上の1/2にあたる成長ドライバーが10%成長

実質的な成長

15年度上期

(対14年度上期)

14年度

(億円) (対13年度)

消化器系疾患*

2,409

+10.4%

+28.7%

成長ドライバー全体成長率**

オンコロジー

3,338

+4.0%

+1.6%

+10.0%

新興国事業*

3,163

+8.1%

+7.1%

成長ドライバー全体**

タケダ連結売上

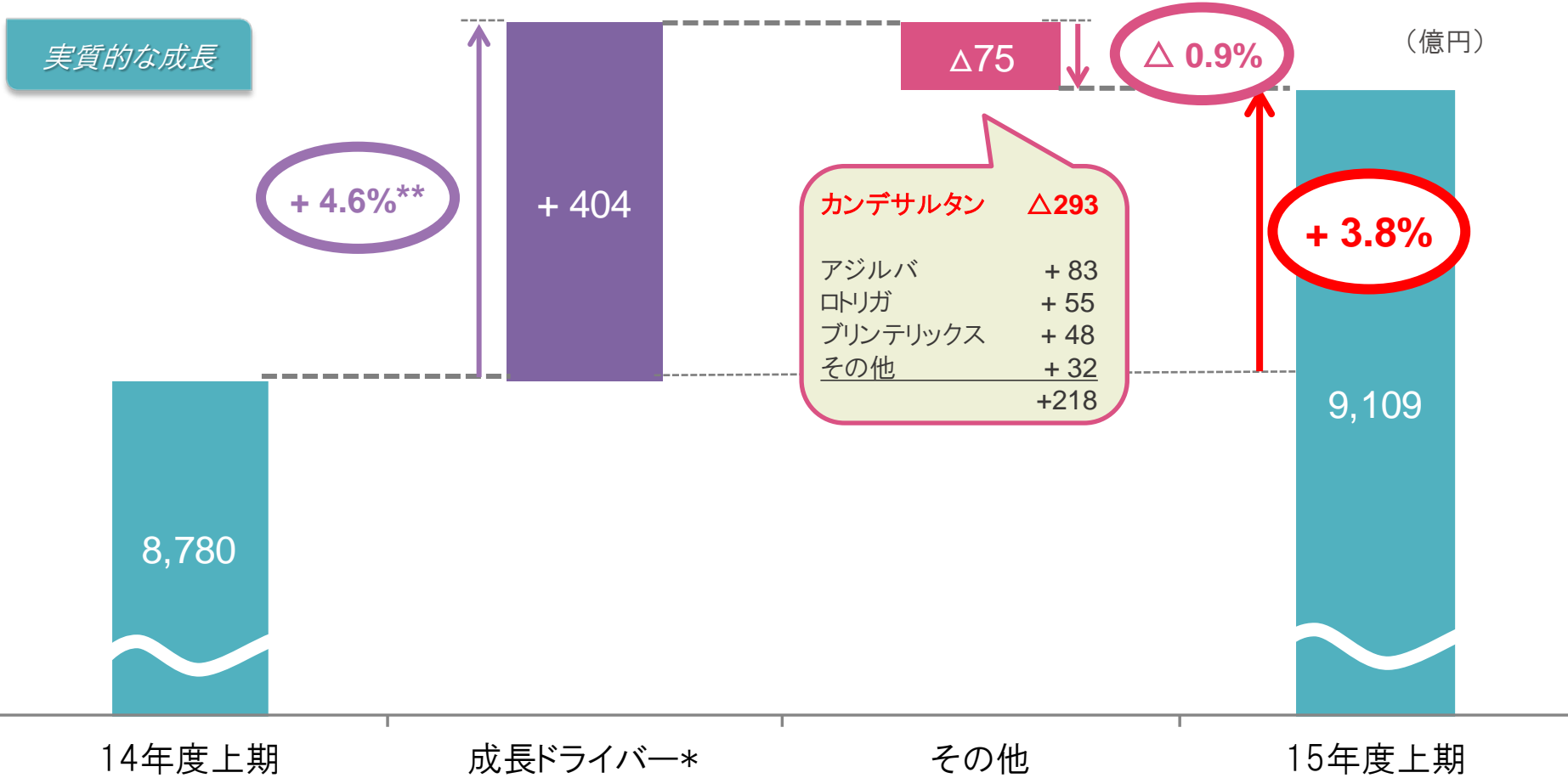
49%

* パントプラゾールは、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患(GI)には含めない。

** 全体成長率は、消化器系疾患、オンコロジー、新興国事業の売上合計から重複を差し引き算出(例:新興国事業とオンコロジーのアドセトリス等)。



成長ドライバーが特許満了影響を上回る



*成長ドライバーの消化器系疾患およびオンコロジー品目についてはAppendixをご参照ください。

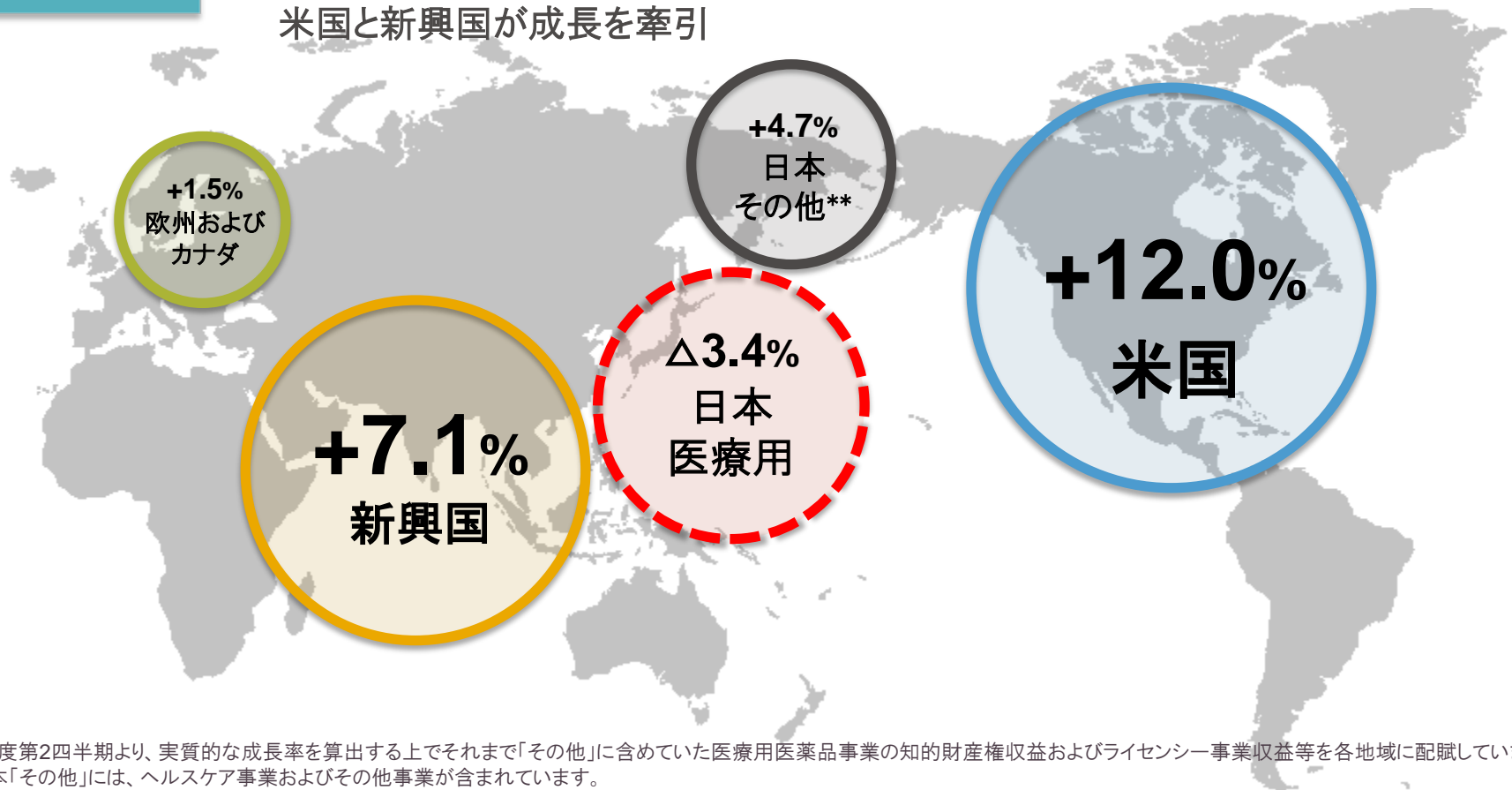
**14年度上期の実質的な売上収益総額(8,780億円)に対する成長(+4.6%)です。14年度上期の成長ドライバーにかかる売上収益(4,045億円)に対する成長率は+10%です。



米国と新興国が成長を牽引

実質的な成長

15年度上期の地域別売上収益* 対14年度上期
米国と新興国が成長を牽引



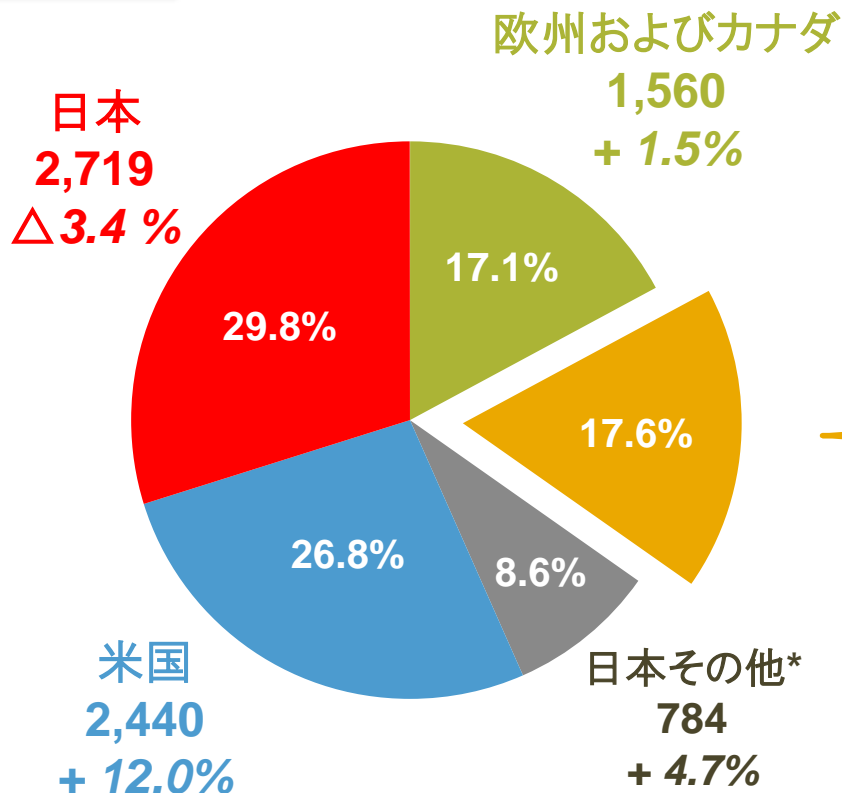
*15年度第2四半期より、実質的な成長率を算出する上でそれまで「その他」に含めていた医療用医薬品事業の知的財産権収益およびライセンス事業収益等を各地域に配賦しています。

** 日本「その他」には、ヘルスケア事業およびその他事業が含まれています。

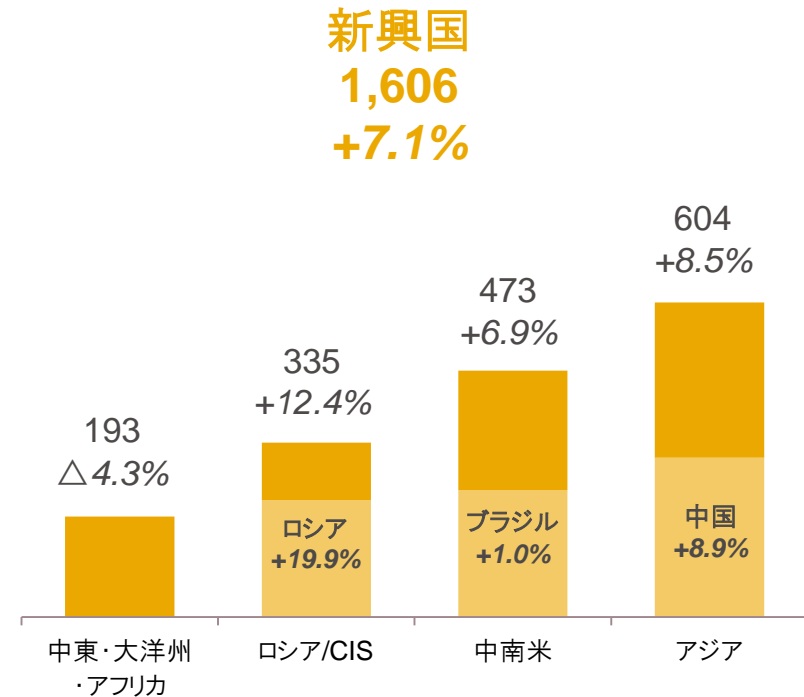


力強い新興国事業の成長 - 15年度上期

実質的な成長



(億円)



*日本におけるヘルスケア事業
およびその他事業



消化器系疾患での成長:エンティビオ® 20億ドル以上のピークセールスにつながる成長

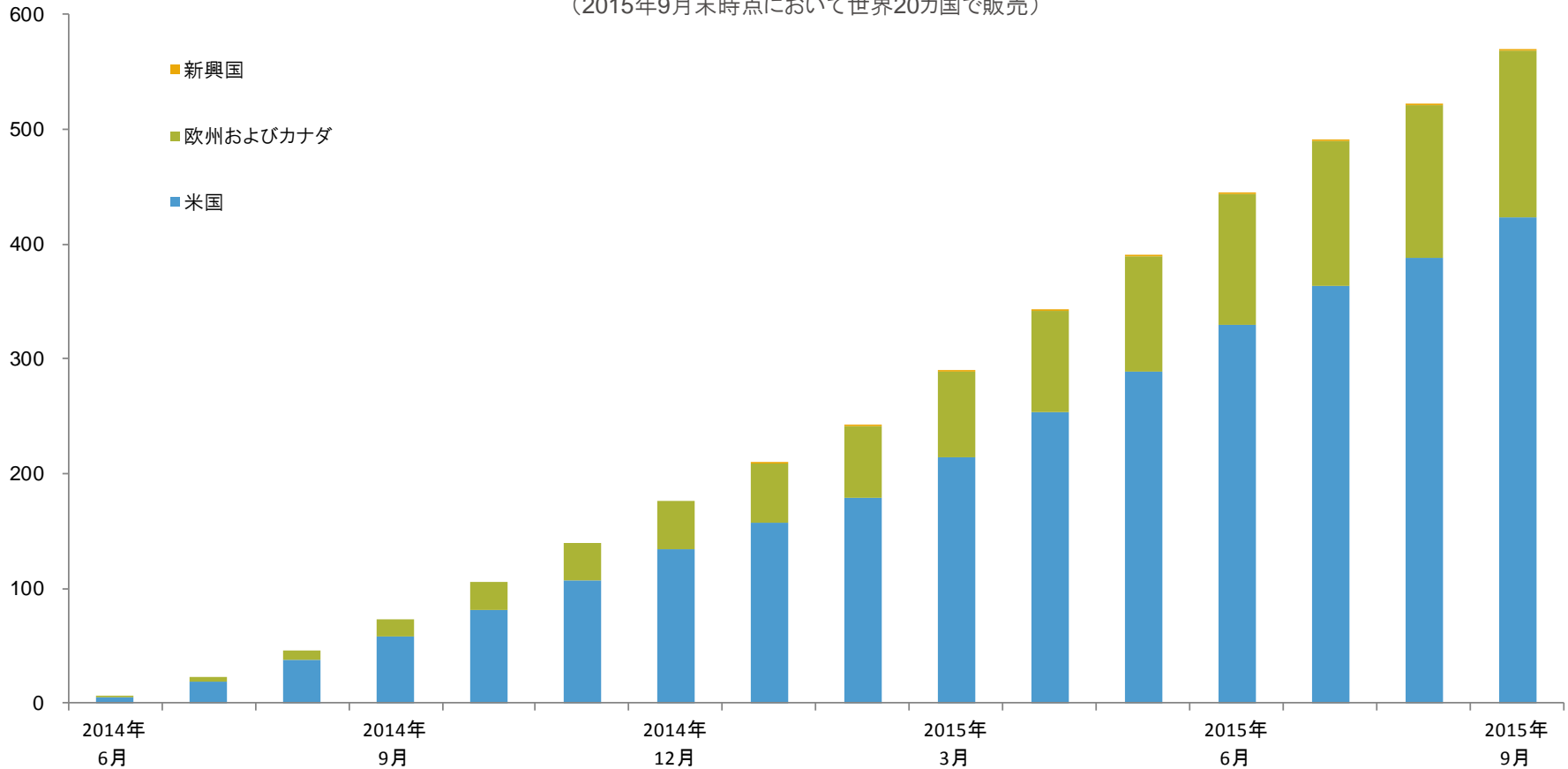
同一為替レート換算のMoving Annual Total(移動通年合計)

売上収益
(億円)

エンティビオ®

(2015年9月末時点において世界20カ国で販売)

- 新興国
- 欧州およびカナダ
- 米国



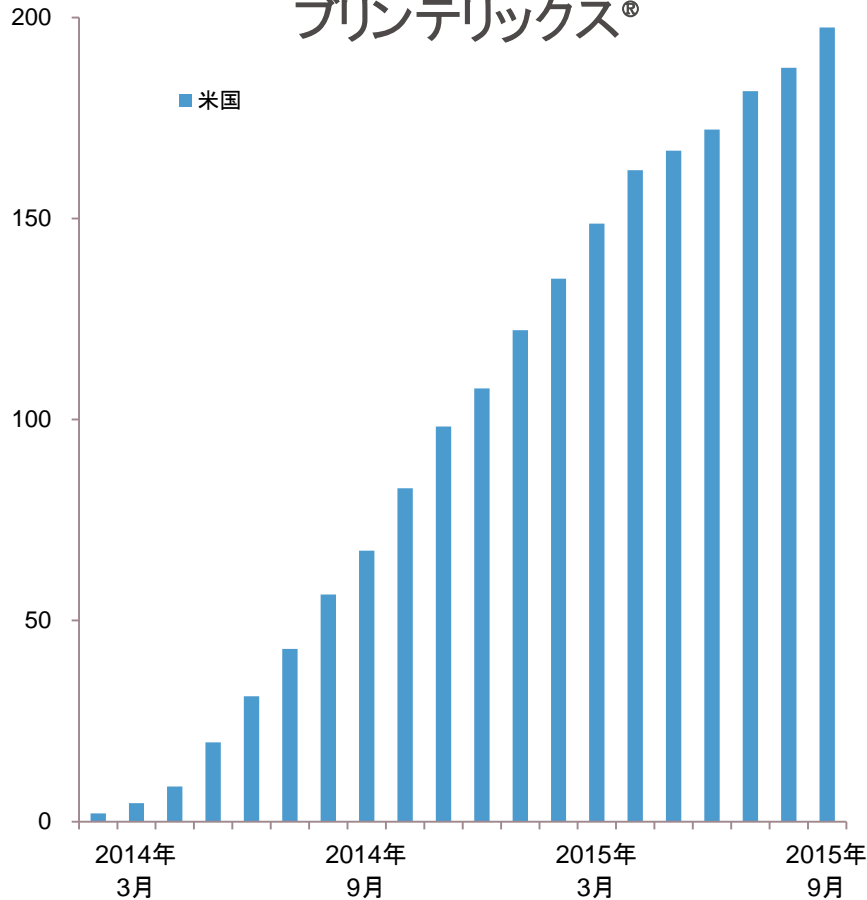


ブリンテリックス®とアドセトリス®の堅調な伸長

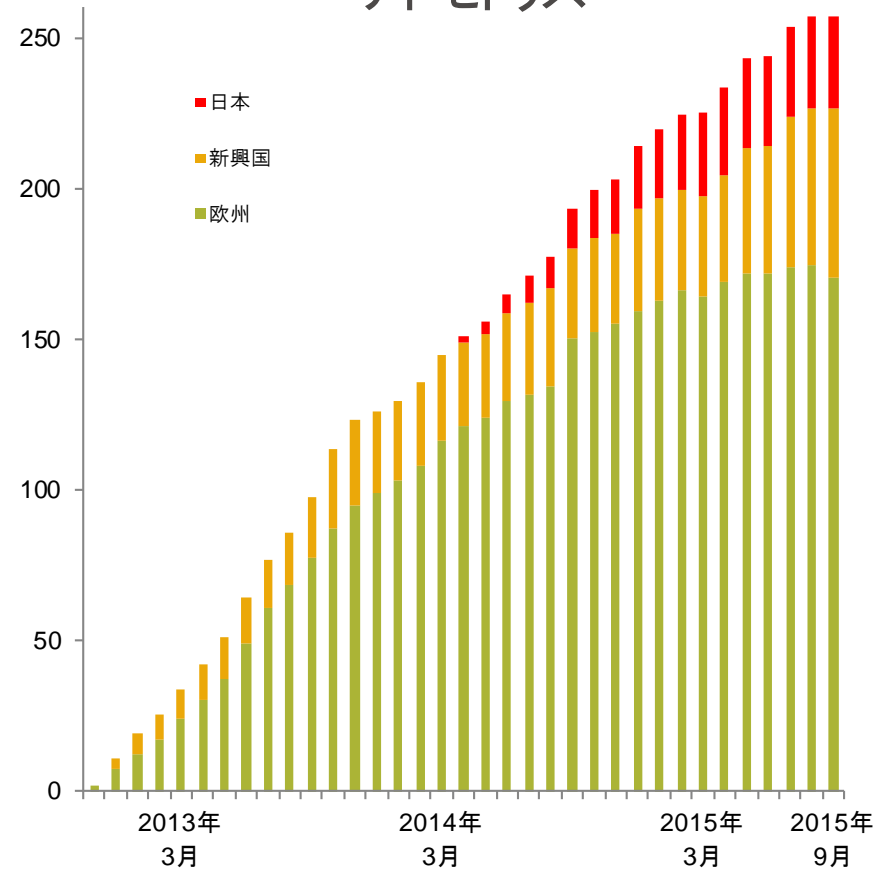
売上収益
(億円)

同一為替レート換算のMoving Annual Total(移動通年合計)

ブリンテリックス®



アドセトリス®





実質的な成長：Core Earnings

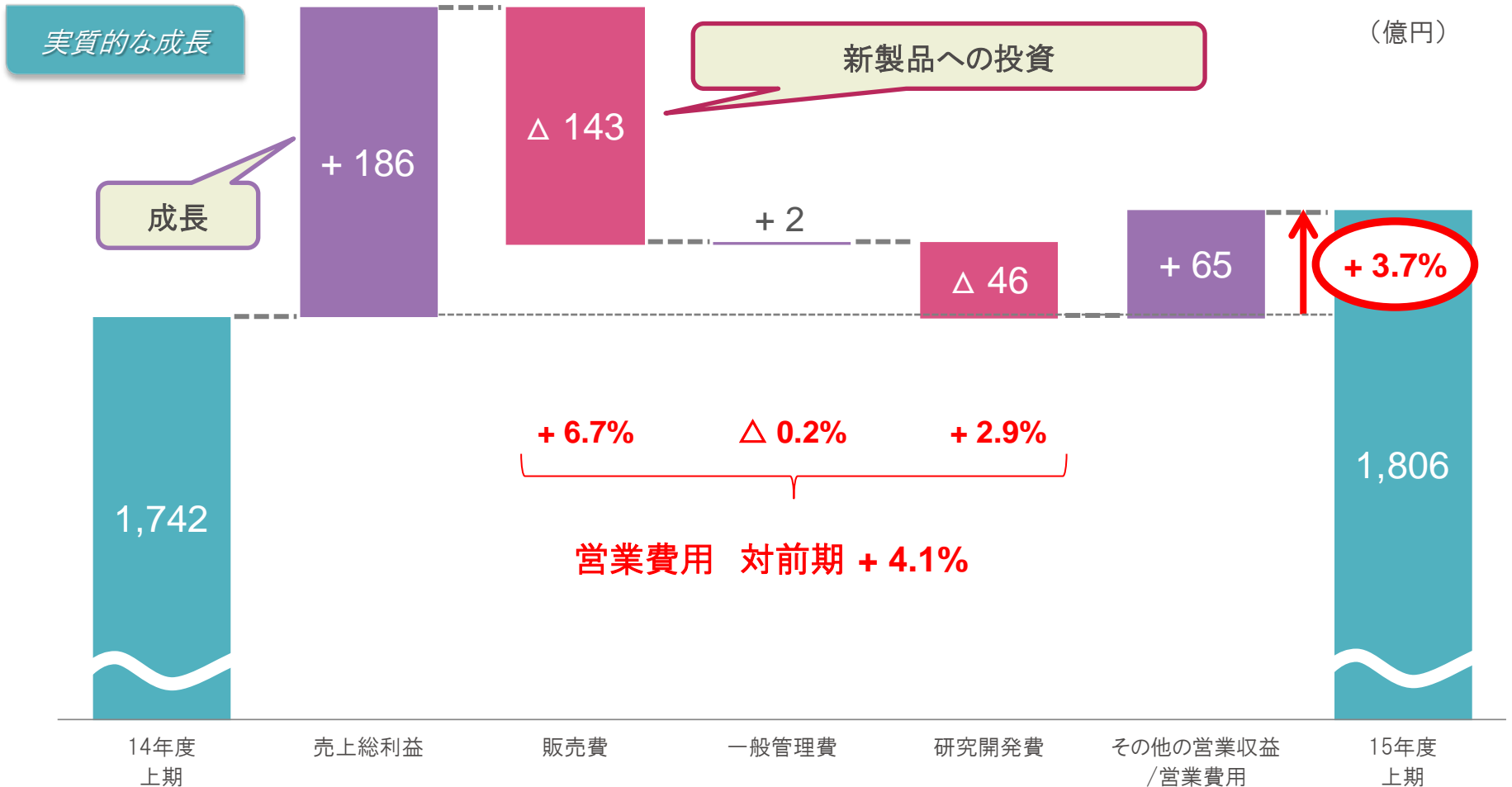


損益計算書(実質ベース) - 堅調に推移

	14年度 上期	15年度 上期	増減	(億円)
実質的な売上収益	8,780	9,109	+329	+ 3.8%
実質的な売上総利益	6,332	6,518	+186	+ 2.9%
販売費	2,136	2,279	+143	+ 6.7%
一般管理費	884	882	△2	△ 0.2%
研究開発費	1,551	1,597	+46	+ 2.9%
その他の営業収益	120	91	△29	△ 24.2%
その他の営業費用	139	45	△94	△ 67.7%
実質的なCore Earnings	1,742	1,806	+64	+ 3.7%
実質的なCore四半期利益	1,066	1,150	+85	+ 7.9%
実質的なCore EPS	136 円	146 円	11 円	



年間ガイダンス達成に向けた実質的なCore Earningsの成長





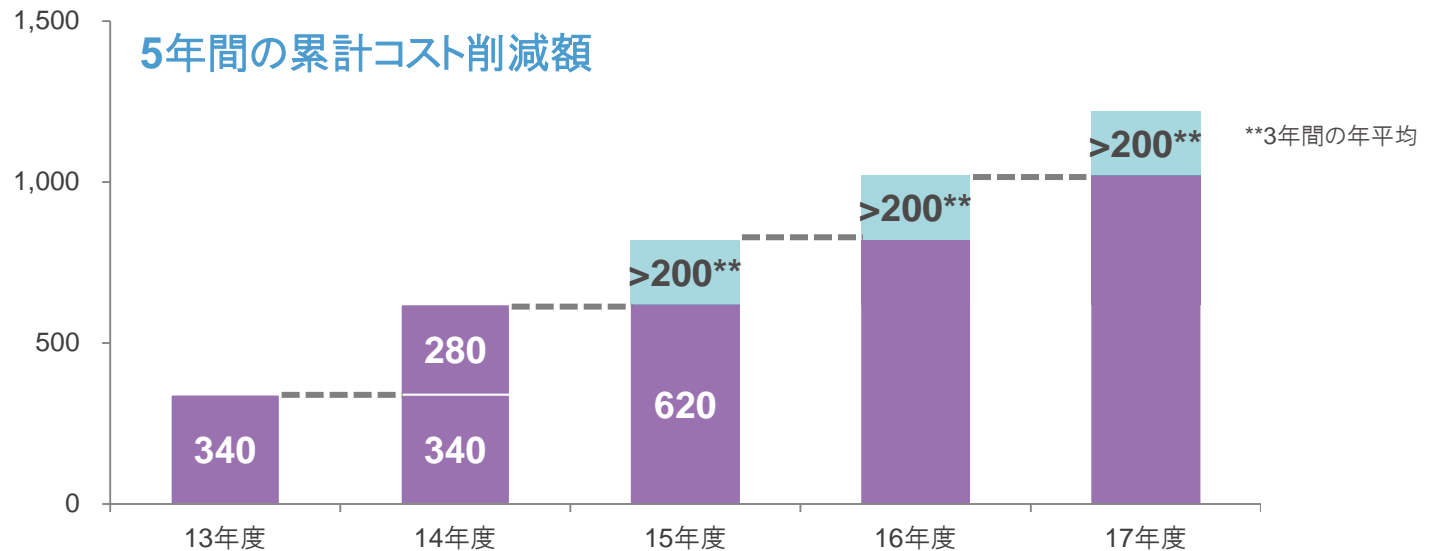
Project Summitの目標達成に向けて

	15年度 上期	15-17年度 (各年度)	13-17年度 (累計)
コスト削減額	110*	年平均 200以上	1,200以上
インプレメンテーションコスト	70	年平均 150以上	1,000上限

(億円)

* 15年度上期コスト削減額内訳

- 58% 購買、42% 購買以外
- 40% コマーシャル、32% R&D、15% 製造・供給、13% 一般管理



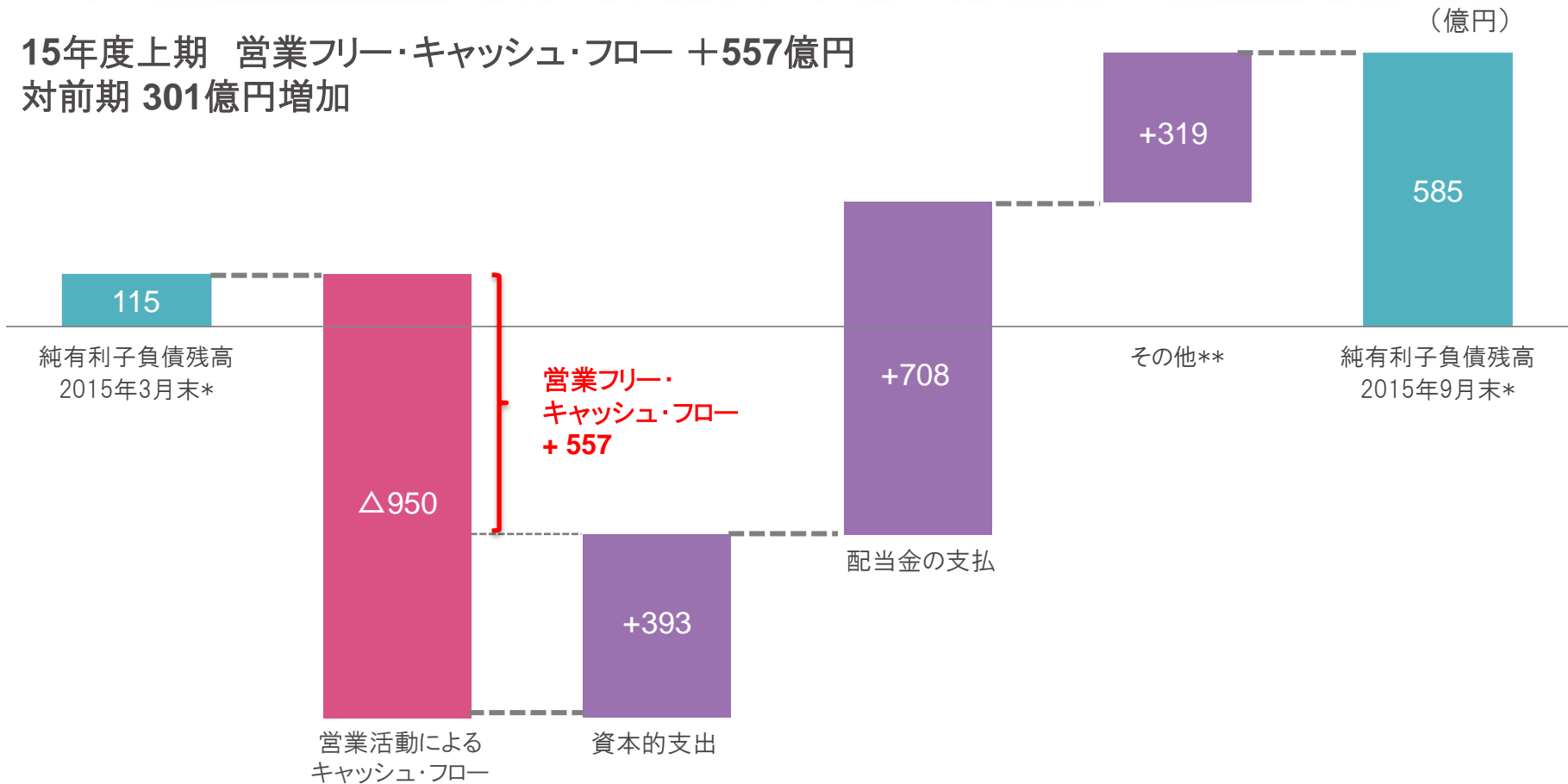


キャッシュ・フローと負債



営業フリー・キャッシュ・フローが増加、さらなる改善は必要

15年度上期 営業フリー・キャッシュ・フロー +557億円
対前期 301億円増加

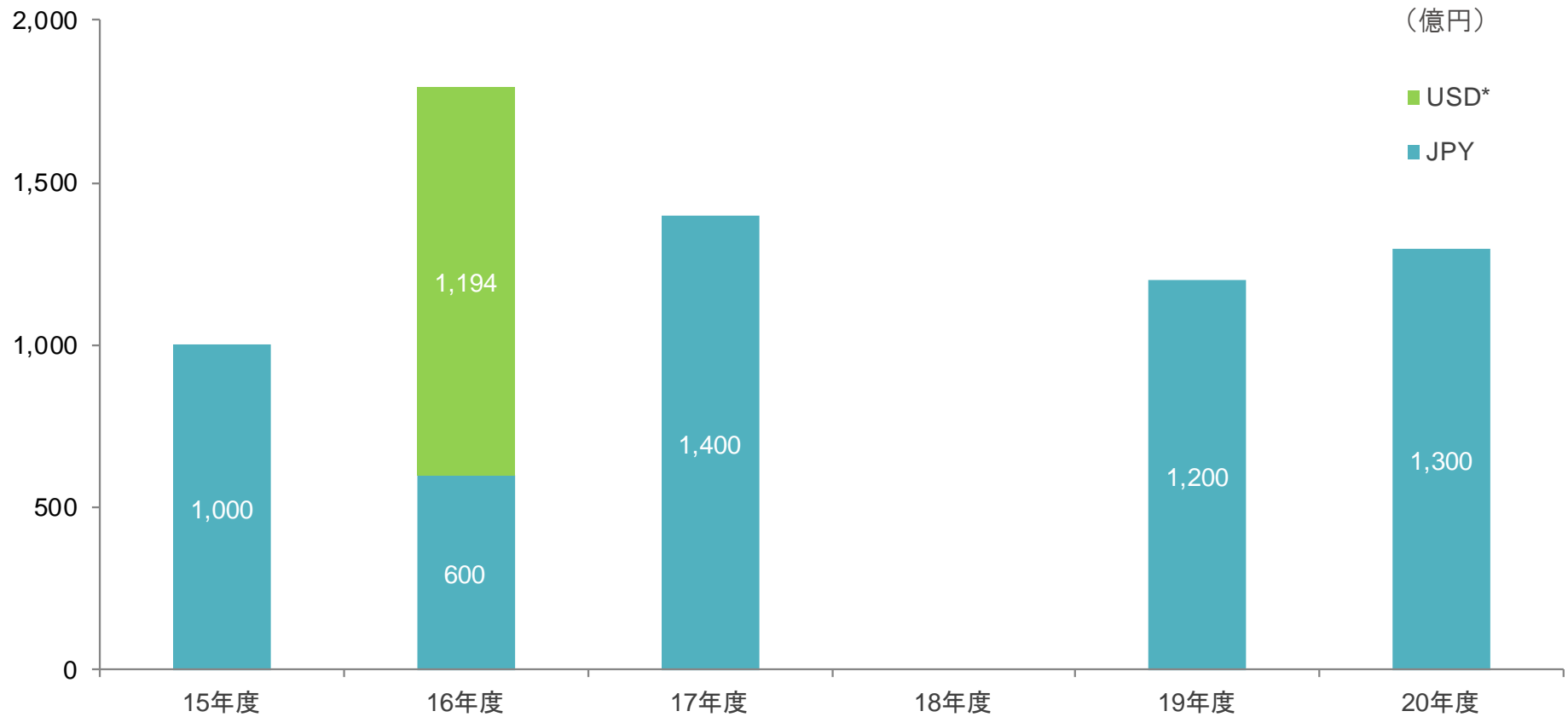


*為替レートをヘッジしたベースの有利子負債から、現金及び現金同等物(期末から1年以内に決済予定の短期投資を含む)を控除して算定しております。

**その他には、ESOP信託およびBIP信託を通じた自己株の取得等を含みます。



有利子負債満期スケジュール



* USD建て有利子負債は、為替レートをヘッジしたベースでの金額としております。



公表予想とマネジメントガイダンス



2015年度の公表予想 修正なし

(億円)	15年度 予想*
売上収益	18,200
研究開発費	3,300
営業利益	1,050
税引前利益	1,150
純利益	680
EPS	87円
換算レート	ドル 120円 ユーロ 135円

*当社の業績は、事業環境の変化や為替変動による影響など、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本資料に記載されている「業績予想」は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因により変動し、異なる結果を招きうる不確実性を含んでいます。



2015年度 マネジメントガイダンスを維持

売上収益の 実質的な成長	1桁台前半
Core Earningsの 実質的な成長	売上収益の実質的な成長より 高い成長率
Core EPSの 実質的な成長	Core Earningsの実質的な成長より 高い成長率
1株当たり年間配当金	180 円



Appendix



Core EarningsとCore EPSの定義

Core Earnings

- Core Earningsは、営業利益から、企業買収に係る会計処理、無形資産の償却費・減損損失、事業構造再編費用、主要な訴訟費用などの特殊要因を除いて算定しています。
- Core Earningsの調整項目は次のスライドをご参照ください。

Core EPS

- Core EPSは、当期利益から、Core Earnings算定上除いた項目と同様の性質を有する項目およびこれらにかかる税金影響を除いた利益(Core Net Profit)を基に算定した1株当たり利益です。



Core Earningsの調整項目

営業利益からの調整項目		Note
1	企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の償却費	以下にかかる償却費 <ul style="list-style-type: none">企業買収にともない認識した上市後製品に係る無形資産ライセンス導入にともない生じる契約一時金およびマイルストーン(ステージアップ・販売承認申請・販売承認取得等)に係る無形資産基盤技術に係る無形資産
2	企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産の減損損失	以下にかかる減損損失 <ul style="list-style-type: none">企業買収およびライセンス導入にともない認識した無形資産(上市後製品および研究開発中のパイプライン)のれん
3	企業買収に係る上記以外の会計処理の影響	<ul style="list-style-type: none">棚卸資産の時価評価にともなう評価差額の償却費条件付対価に係る公正価値変動額
4	事業、関係会社等の処分に係る損益	<ul style="list-style-type: none">事業、関係会社、遊休不動産および有価証券(*)の処分に係る損益 (*) 有価証券の処分に係る損益は金融損益であるため、Core純利益での調整項目
5	事業構造再編に関する費用	<ul style="list-style-type: none">事業統合費用導入費用
6	訴訟に係る和解金/賠償金および金額影響の大きい訴訟費用(弁護士費用)等	<ul style="list-style-type: none">ピオグリタゾン製剤に起因する製造物責任訴訟費用(弁護士費用)等
7	定常的なビジネスに関連しない特殊な事項に係る損益	<ul style="list-style-type: none">自然災害等の、会社の制御を超えて発生する管理不能な損益製品回収にかかる費用政府補助金法人所得税の還付金等



損益計算書（財務ベース）〔第2四半期〕

	14年度 第2四半期	15年度 第2四半期	増減	(億円)
売上収益	4,402	4,578	+176	+4.0%
売上総利益	3,113	3,215	+102	+3.3%
販売費	1,058	1,100	+42	+4.0%
一般管理費	407	418	+10	+2.5%
研究開発費	814	804	△10	△1.2%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	325	296	△29	△8.9%
その他の営業収益	146	78	△68	△46.5%
その他の営業費用	124	66	△58	△46.9%
営業利益	530	609	+79	+14.9%
税引前四半期利益	531	533	+2	+0.3%
四半期利益	280	298	+18	+6.3%
EPS	36 円	38 円	+ 2 円	+6.6%



損益計算書（実質ベース）〔第2四半期〕

	14年度 第2四半期	15年度 第2四半期	増減	(億円)
実質的な売上収益	4,538	4,610	+72	+ 1.6%
実質的な売上総利益	3,248	3,245	△3	△ 0.1%
販売費	1,102	1,111	+9	+ 0.8%
一般管理費	449	421	△27	△ 6.1%
研究開発費	795	790	△5	△ 0.6%
その他の営業収益	38	25	△13	△ 35.1%
その他の営業費用	80	21	△59	△ 73.3%
実質的なCore Earnings	861	927	+66	+ 7.6%
実質的なCore四半期利益	486	571	+85	+ 17.4%
実質的なCore EPS	62 円	73 円	+ 11 円	+ 17.4%



消化器系疾患、オンコロジーにおける成長ドライバー

消化器系疾患における成長ドライバー*

	製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1	ランソプラゾール	1992/12	プロトンポンプ阻害薬	消化性潰瘍
2	アミティーザ	2006/4	クロライドチャンネル開口薬	慢性特発性便秘症
3	デクスラント	2009/2	プロトンポンプ阻害薬	酸関連疾患
4	エンティビオ	2014/6	ヒト化抗 $\alpha 4\beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体	潰瘍性大腸炎、クローン病
5	タケキャブ	2015/2	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー	酸関連疾患

オンコロジーにおける成長ドライバー

	製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1	リュープロレリン	1985/5	LH-RH アゴニスト	前立腺がん
2	ベルケイド	2008/5	プロテアソーム阻害薬	多発性骨髄腫
3	ベクティビックス	2010/6	ヒト型抗EGFRのモノクローナル抗体	進行・再発の結腸・直腸癌
4	アドセトリス	2012/11	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体	再発・難治性のホジキンリンパ腫

*パントプラゾールは、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患(GI)には含めない。

**世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示。



成長を牽引する消化器系疾患およびオンコロジー 実質的な売上成長

(億円)

実質的な成長

	14年度 上期	15年度 上期	実質的な成長	
エンティビオ	73	355	+281	-
デクスラント	317	354	+36	+11.5%
アミティーザ	163	189	+25	+15.4%
タケキャブ	-	20	+20	-
ランソプラゾール	525	472	△53	△10.0%
消化器系疾患	1,079	1,389	+310	+28.7%
アドセトリス	118	148	+29	+24.7%
ベクティビックス	92	95	+3	+2.7%
リュープロレリン	618	620	+2	+0.4%
ベルケイド	851	844	△8	△0.9%
オンコロジー	1,680	1,706	+26	+1.6%



営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

	14年度 上期	15年度 上期	上期 成長率	第1四半期 成長率	(億円) 第2四半期 成長率
営業利益	1,167	1,104	△ 5.4%	△ 22.2%	+ 14.9%
企業買収に係る影響	635	601			
事業、関係会社等の処分	△252	△3			
事業構造再編費用	139	68			
その他の特殊事項に係る損益	10	4			
Core Earnings	1,699	1,775	+ 4.5%	+ 2.5%	+ 6.4%
為替影響*	△4	33			
売却/取得	47	△2			
実質的な Core Earnings	1,742	1,806	+ 3.7%	△ 0.1%	+ 7.6%

実質的な成長率

+ 3.7%

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円、他)による調整



四半期利益から実質的なCore四半期利益への調整

	14年度 上期	15年度 上期	(億円) 成長率
四半期利益	614	544	△ 11.5%
EPS	78 円	69 円	△ 11.2%
企業買収に係る影響	504	428	
事業、関係会社等の処分	△181	△1	
事業構造再編費用	101	51	
その他の特殊事項に係る損益	12	38	
Core Earnings	1,051	1,060	+ 0.8%
Core EPS	134 円	135 円	+ 1.2%
為替影響*	△56	92	
売却/取得	71	△1	
実質的なCore Earnings	1,066	1,150	+ 7.9%
実質的な Core EPS	136 円	146 円	

*同一為替レート換算(1ドル120円、1ユーロ130円、他)による調整



キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	14年度 上期	15年度 上期	増減
四半期利益	632	560	△ 72
減価償却費、償却費及び減損損失	977	950	
運転資本増減	△ 741	△ 583	
法人税等の支払額	△ 207	△ 139	
その他	186	161	
営業活動によるキャッシュ・フロー	847	950	+103
有形固定資産の取得	△ 267	△ 238	
無形固定資産の取得	△ 324	△ 155	
(営業フリー・キャッシュ・フロー)	(+255)	(+557)	(+301)
有形固定資産の売却	252	3	
投資有価証券/定期預金の売却又は償還	576	30	
その他	19	△ 49	
投資活動によるキャッシュ・フロー	255	△ 409	△ 664
自己株式取得による支出	△ 176	△ 223	
配当金の支払額	△ 710	△ 708	
その他	△ 176	△ 52	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,061	△ 983	+78
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)*	40	△ 442	△ 482

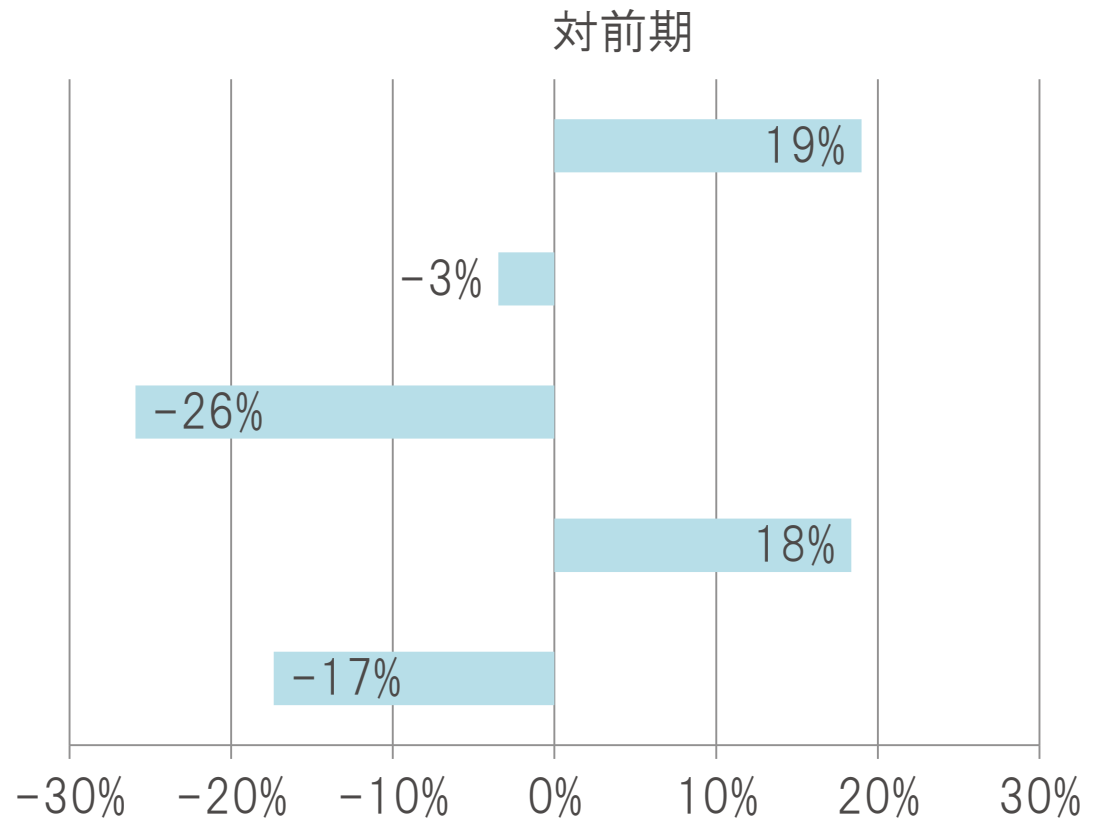
*現金及び現金同等物に係る換算差額による増減は含んでおりません。



2015年度上期 平均為替レート

平均為替レート (円)*

	14年度 上期	15年度 上期
USD	102.45	121.91
EUR	139.00	134.16
RUB	2.90	2.14
CNY	16.51	19.54
BRL	45.84	37.88



*各月の前月末レート averages



月次実勢レートおよび公表予想レート

実勢レート*

(円)

	14年度		15年度	
	USD	EUR	USD	EUR
4月	103	141	120	130
5月	102	141	119	130
6月	102	138	124	136
7月	101	138	123	138
8月	103	138	124	136
9月	104	137	122	136
4—9月平均	102	139	122	134

*各月の前月末レートを適用

公表予想レート

(円)

	15年度	
	USD	EUR
10—3月平均	119	136
4—3月平均	120	135



1%為替円安影響

1%為替円安影響(10-3月)

(億円)

	15年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
売上収益	28	10	2	4	2
営業利益	0	△1	1	1	0
Core Earnings	4	2	2	1	0

Better Health, Brighter Future



武田薬品工業株式会社